

# 特殊小型船舶操縦士学科試験

問題	
----	--

受験番号	
------	--

## 【注意事項】

1. 各問題の解答は、必ず別紙解答用紙に記入すること。
2. 各問題の解答は、4つの選択肢のうちから1つだけ選ぶこと。

## 【受験科目及び試験時間】

受有している免許	受験科目	試験時間
無し	全科目 (問1～問40)	50分
一級、二級	運航 (問23～問40)	20分

※ 海技士資格受有者の受験科目と試験時間は別に定める。

※ 配点及び合格基準は、リーフレット(特殊小型船舶操縦士試験について)を参照のこと。

## 【小型船舶操縦者の心得及び遵守事項】

問1 小型船舶で航行する場合の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

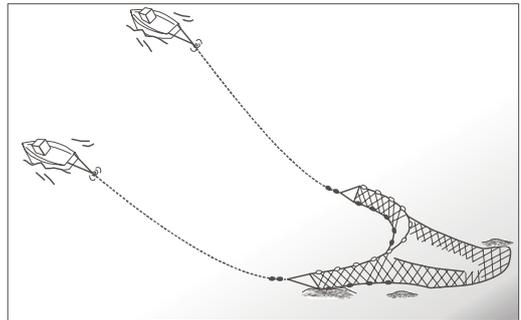
- (1) 釣り人がいる堤防に近づくと、釣り糸をプロペラに巻き込む場合がある。
- (2) 作業中の台船に近づくと、台船固定用のアンカーロープをプロペラに引っ掛ける場合がある。
- (3) プレジャーボートが航行する水域でも、定置網などの漁具が設置されている場合がある。
- (4) 護岸工事やしゅんせつ作業をしている船が、漁網を引いている場合がある。

問2 航行中のエンジン付ヨットの特性について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) エンジンのみで航行する場合も、帆のみで航行する場合も操縦性能は変わらない。
- (2) 帆走中は、帆と船体の間から周囲を見渡すことができるため、帆が死角を作ることはない。
- (3) 帆走中の操船は風に左右されるため、自由自在に航行することが難しい。
- (4) エンジンを使わず、帆走だけで風上側に向かって航行することはできない。

問3 下図に示す「<sup>そこ</sup>び<sup>あみ</sup>底引き網漁業」について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 右図のように2隻が1組になって操業している場合は、2隻の間に入らないように注意する。
- (2) 網は海底に広げられているので、漁船の後方であればすぐ近くを航行することができる。
- (3) 操業中に進路を急に变える場合があるので、近くを航行する場合は特に注意する。
- (4) 操業中であることを示す形象物をマストなどに掲げている場合がある。



問4 プレジャーボートの海難種類と、その主な原因の組合せとして正しいものは、次のうちどれか。

- (1) 運航不能(機関故障) …… 気象海象不注意
- (2) 衝突 …… 見張り不十分
- (3) 転覆 …… 船位不確認
- (4) 乗揚げ …… 操船不適切

問5 小型船舶の船長の役割や責任について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 小型船舶の船長には、大型船の船長と同じように社会的な責任と義務がある。
- (2) 船の最高責任者なので、リーダーシップを発揮して何ごとにも的確な判断をする。
- (3) 水域ごとのルールや遵守事項を守り、他の利用者と譲り合って水域を利用する。
- (4) 同乗者が操縦中に起こした事故については、どんな場合でも船長に法的責任はない。

問6 小型船舶の船長のマナーについて述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 工事区域の近くには、できるだけ近づかないように注意して航行する。
- (2) 錨泊している船舶のすぐ近くを航行する場合は、高速で素早く通過する。
- (3) 水中作業をしている船を見つけたら、確認のため十分に近づいて航行する。
- (4) 出航するときは、なるべく早朝や夜間になるように時間を調整する。

問7 安全な航行をするために船長がとった次の行動のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 天候が悪化しつつあったが、荒天準備よりも、とりあえず目的地へ直行することを優先した。
- (2) 日没を過ぎたので、計器の明かりが見張りの妨げにならないように、計器の照明を調整した。
- (3) 船舶交通が混み合う水域に近づいたので、見張りをしやすくするため速力を落とした。
- (4) 会話したりラジオを聞いたりしている最中でも、エンジンや周囲の音の変化に注意を払った。

問8 航行中に落水してしまった場合の処置として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) パニックにならないように、落ち着いて行動する。
- (2) 浮くものにつかまるなどして、浮力を確保する。
- (3) 岸が見えている場合は、岸に向かって全力で泳ぐ。
- (4) 笛を吹くなどして、自分のいる位置を知らせる。

問9 小型船舶の船長の遵守事項について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

(船舶職員及び小型船舶操縦者法)

- (1) 同乗者が見張りをしていれば、船長は操船に専念して見張りをしなくてもよい。
- (2) 発航前には、機関や救命設備などを点検しなければならない。
- (3) 小型船舶のうち水上オートバイだけが、遊泳者の近くでジグザグ走行をしてはならない。
- (4) 港内を航行するときは、船長はもちろん同乗者も飲酒をしてはならない。

問10 操縦免許証について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

(船舶職員及び小型船舶操縦者法)

- (1) 操縦免許証は自宅に保管し、操縦するときはその写しを持って行く。
- (2) 操縦免許証の有効期間は6年である。
- (3) 操縦免許証の更新は、3年ごとに1回行う。
- (4) 操縦免許証は、有効期間の満了日を過ぎると効力を失う。

問11 小型船舶の登録に関する事務を行っているのは、次のうちどこか。

(小型船舶の登録等に関する法律)

- |            |                 |
|------------|-----------------|
| (1) 都道府県庁  | (2) 日本小型船舶検査機構  |
| (3) 船用メーカー | (4) 国土交通省の地方運輸局 |

問12 環境への配慮として適切なものは、次のうちどれか。

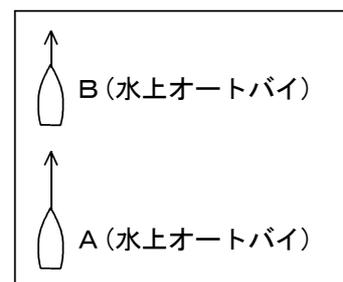
- (1) 油水分離器で油分を取り除いたビルジを航行中に排出する。
- (2) 細かく切断したプラスチックごみを海中に捨てる。
- (3) 魚の餌となるように細かく刻んだ生ごみを海中に捨てる。
- (4) 砂を詰めて沈む状態にしたペットボトルを海中に捨てる。

## 【交通の方法】

問13 右図に示すように、航行中のA船がB船を追い越そうとする場合の航法として正しいものは、次のうちどれか。

(海上衝突予防法)

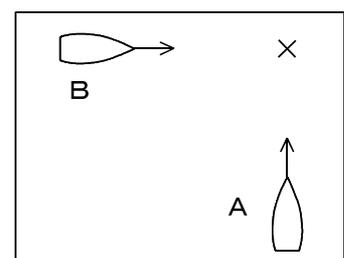
- (1) Aは針路を保って航行しなければならない。
- (2) Bは針路、速力を保ち、十分に注意して航行しなければならない。
- (3) Aは早めに速力を落として航行しなければならない。
- (4) Bはできるだけ早めに停船しなければならない。



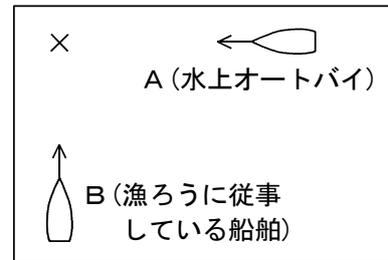
問14 右図に示すように、航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り×印の付近で衝突するおそれがあるとき、B船はどのようにしたらよいか。次のうちから選べ。

(海上衝突予防法)

- (1) そのときの針路と速力を保ち、十分に注意して航行する。
- (2) 右転して、Aの船尾方向を通過する。
- (3) 速力を上げて、Aの船首方向を横切る。
- (4) 急速に短音5回以上の汽笛信号を行う。



問15 右図に示すように、航行中の2隻の船舶が×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)



- (1) BがAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。
- (2) AがBの進路を避け、Bは針路、速力を保つ。
- (3) A、Bともに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。
- (4) Bはできるだけ速力を上げて、Aの船首方向を横切る。

問16 安全な速力の決定にあたって特に考慮しなければならない事項として規定されているものは、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

- (1) 自船の定員
- (2) 帰港予定時刻
- (3) 自船の操縦性能
- (4) 目的地までの距離

問17 狭い水道等における航法について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。 (海上衝突予防法)

- (A) 航行中の水上オートバイは、帆船の進路を避けなければならない。
- (B) できる限り、狭い水道等の右側端に寄って航行しなければならない。
- (1) (A)だけ正しい
- (2) (B)だけ正しい
- (3) ともに正しい
- (4) ともに誤っている

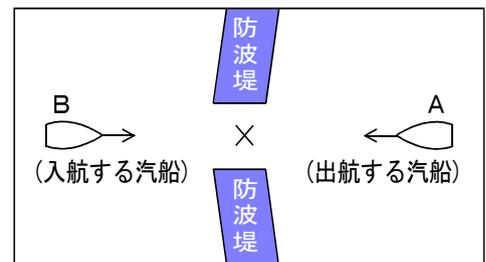
問18 急速に短音5回以上の汽笛信号を行っているのは、どのような船舶か。次のうちから選べ。 (海上衝突予防法)

- (1) 針路を右に転じている船舶
- (2) 針路を左に転じている船舶
- (3) エンジンを後進にかけている船舶
- (4) 他船の動作が理解できない船舶

問19 水上安全に関する条例について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

- (1) 条例に違反した者の取締りは、国土交通省が行っている。
- (2) 条例により、船舶の航行を制限したり騒音を規制している水域がある。
- (3) 条例に違反しても、懲役や罰金などの罰則は適用されない。
- (4) 条例が定められているのは、大きな湖がある都道府県だけである。

問20 右図に示すように、港内を航行中の2隻の船舶が×印の付近で出会うおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。 (港則法)



- (1) Aは防波堤の内でBを避け、Bはそのまま入航する。
- (2) Bは防波堤の外でAを避け、Aはそのまま出航する。
- (3) A、Bともに右側に寄って航行する。
- (4) A、Bともに左側に寄って航行する。

問21 汽艇等の航法について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。 (港則法)

- (A) 汽艇等は、港内においては、汽艇等以外の船舶の進路を避けなければならない。
- (B) 汽艇等は、特定港内を航行するときは、航路を航行しなければならない。
- (1) (A)だけ正しい
- (2) (B)だけ正しい
- (3) ともに正しい
- (4) ともに誤っている

問22 海上交通安全法が適用される海域は、次のうちどこか。

- (1) 阿蘇海
- (2) 有明海
- (3) 瀬戸内海
- (4) オホーツク海

## 【運 航】

問23 水上オートバイを操縦するときに着用するウエットスーツの効果として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 落水したときの衝撃やジェット噴流から身体を守ってくれる。
- (2) 浮力があり、ライフジャケットの代わりになってくれる。
- (3) 保温性があり、体温の低下を防いでくれる。
- (4) 肌の露出を抑えることで、直射日光から守ってくれる。

問24 ある地域の海岸や河川の一部といった、限定された水域を安全に利用するための取決めや各種の制限事項は、何によって定められているか。次のうちから選べ。

- (1) 道路交通法
- (2) 海上交通安全法
- (3) 船舶安全法
- (4) ローカルルール

問25 水上オートバイの運動特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) ジェット噴流の向きを変えることで、後進でも高速で航行することができる。
- (2) ある程度の推進力がないと、進行方向を自由に変えることができない。
- (3) 走行中にエンジンを停止しても、惰力のためすぐには止まることができない。
- (4) 転覆しても、操縦者が自力で引き起こして再び走り出すことができる。

問26 水上オートバイの後進機能の使用目的について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) ハンドルを切っても旋回できないような狭い場所で、方向転換をするため。
- (2) エンジン始動時に、ジェット噴流の方向を変えて急発進を防止するため。
- (3) 高速走行中、他船と衝突しそうになった場合に、高速後進して避けるため。
- (4) 棧橋に着岸するときや砂浜に近づくときに、惰性を調節するため。

問27 シットィングタイプの水上オートバイを砂浜から発進させる場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 乗艇する場合には、バランスを取って側面から乗るようにする。
- (2) エンジンを始動する前に、艇体を数回揺すって砂などを落とす。
- (3) 乗艇すると不安定になるので、あらかじめエンジンを始動しておく。
- (4) 足首が水につかる程度の深さのところから、発進させるようにする。

問28 転覆した水上オートバイを復原する(引き起こす)場合、回転方向を指定している機種があるが、その理由として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) エンジン内部に水が入らないようにするため
- (2) 燃料タンクから燃料が漏れないようにするため
- (3) バッテリー内に水が入らないようにするため
- (4) エンジンオイルが漏れないようにするため

問29 乗艇中の水上オートバイがエンジントラブルを起こし、他の水上オートバイに曳航される場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 必ず一人が乗艇し、バランスを取りながら引かれるようにする。
- (2) 曳航ロープを自艇のスターンアイに結び、船尾側から引かれるようにする。
- (3) シートを取り外して曳航する側に預け、できるだけ艇体が軽くなるようにする。
- (4) エンジンがかかっていないので、排水のためにドレンプラグを外すようにする。

問30 河川を走行する場合の一般的な注意事項について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

(A) わん曲部は、外側は浅く内側は深くなっていることが多いので、できるだけ内側に沿って航行する。

(B) 二つの河川の合流地点では、不規則な波が生じることがあるので、特に注意して航行する。

- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問31 日本の浮標式によると、下図に示す標識のうち、出港するとき、その標識の右側に岩礁、浅瀬、沈船などの障害物があることを示すものはどれか。ただし、赤、緑、黒、白は標体の塗色を示す。

- (1) (2) (3) (4)



問32 30ノットで走行している水上オートバイが4海里を走行するのにかかる時間は、次のうちどれか。ただし、風や潮流の影響はないものとする。

- (1) 2分 (2) 4分 (3) 8分 (4) 16分

問33 発航前に行わなければならない法定備品の点検項目として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 信号紅炎の有効期限 (2) 係船ロープの傷み具合  
(3) 笛などの音響器具の有効期限 (4) ライフジャケットのバックルの状態

問34 水上オートバイの冷却水系統を洗うときの要領について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

(A) 洗うときは、十分に水道水を注入してからエンジンを始動する。

(B) 洗い終わったらエンジンを止め、さらに数分間注入してから水道水を止める。

- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問35 スターターモーターは作動するが、エンジンが始動しない場合、その原因として考えられるものは、次のうちどれか。

- (1) エンジンオイルの粘度が低い。 (2) バッテリーターミナルが外れている。  
(3) 燃料がエンジンに供給されていない。 (4) 緊急エンジン停止コードが外れている。

問36 天気記号(日本式)「●」が表すものは、次のうちどれか。

- (1) くもり (2) 霧 (3) 雨 (4) 雪

問37 温暖前線が通過するときに生じる一般的な気象現象として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 風向が、東寄りから北寄りに急変する。 (2) 突風が吹くことが多い。  
(3) しとしとと雨が降る。 (4) 通過後は気温が下がる。

問38 <sup>ちょうせき</sup>潮汐について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

(A) 初めて入港する港でも、主要な港の潮時や潮高ならば、潮汐表で調べることができる。

(B) 潮汐についての情報は、地元のマリーナやインターネットでも入手することができる。

- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問39 水上オートバイによる海難事故の種類とその防止対策を示した次の組合せのうち、適切でないものはどれか。

- (1) 浸 水 …… 水上に降ろす前に、ドレンプラグを確実に閉めておく。
- (2) 衝 突 …… 前方だけでなく、絶えずまわりをよく見張って走行する。
- (3) 運航不能(機関故障) …… 発航前の点検を適切に行い、浮遊物などは避けて走行する。
- (4) 乗 揚 げ …… 走行する水域の日出没時刻、水温や底質を十分に調査しておく。

問40 水上オートバイを使った人命救助の方法について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 風向や流向を考えて、操縦しやすい方向から救助に向かう。
- (2) 要救助者に与える引き波の影響は考えず、素早い救助を心掛ける。
- (3) 艇体が傾き転覆する危険があるので、バランスを取りながら救助する。
- (4) 状況に応じてエンジンを停止し、要救助者を引き揚げる。